

蟻高  
120周年

# 母校と同窓会のあゆみ

大正デモクラシーを背景に蟻高らしさが醸成された時代  
自主自律と文武両道



大正4年

1915年

- 大正天皇御大典奉祝式を挙行



大正天皇御大典奉祝式

大正天皇即位を祝し  
生徒が詠んだ短歌の短冊



その頃

1912年 スtockホルムオリンピック開催



校庭でソフトボールの前身の  
インドアベースボール 70年史より

大正7年

1918年

- スペイン風邪が流行し、全生徒の1/4が  
感染し臨時休校となる



大正7年秋季運動会 70年史より

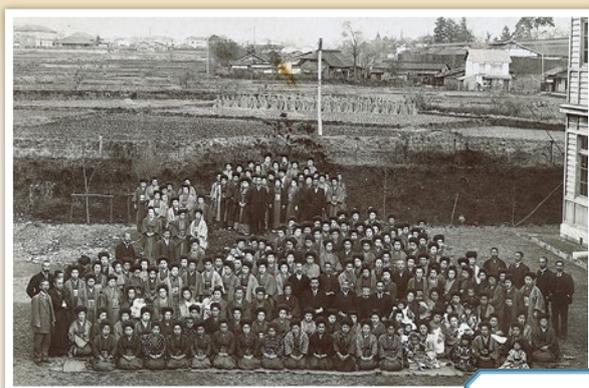
大正8年

1919年

- この頃より志願者が定員の  
3倍を超え県下最高の競争率、  
最難関の高等女学校となる
- 第1回同窓会名簿を発刊

その頃

1914年～1918年  
第一次世界大戦  
1920年  
国際連盟発足 日本は常任理事国



同窓会総会

大正10年

1921年

- のちに「男装の麗人」といわれた  
川島芳子が聴講生として約半年間学ぶ

毎日乗馬で通学した川島芳子と  
今も校内に残る馬の手綱を  
かけたといわれる「駒つなぎの梅」

創立120周年記念誌には、令和2年10月に行われた  
『樹木調査』の情報を掲載しています。敷地内で創立から  
長きにわたり多くの樹木が生徒を見守ってきました。

